

越後・荒沢岳～兔岳 山スキー

木下

【日時】 2011年4月30日(土)～5月4日(水)

【メンバー】L木下 栗原 中村

今年の豊富な残雪を利用して、GWに北ノ又川を一周する山スキーを計画した。通常の積雪であれば難しいかと思うが、チャンスと見て実行してみた。残念ながら天候に恵まれず兔岳までの半周に終わったが、トレースまれの素晴らしい滑降ラインがいくつもある。次回に繋げたいところだ。

4/30 晴のち雨

銀山平はまだ3mほどの雪壁に覆われている。白金の湯手前の駐車場に車をデポして出発、シールでミミズ尾根(蛇子沢下部・左岸尾根)に取り付く。初日の重荷に喘ぎながらミミズ尾根1170m付近まで登り、蛇子沢二俣へブッシュを縫って降りる。蛇子沢中俣は兩岸のスラブからはブロックが落ちきっており、デブリも多いが危険は感じない。デブリ帯を越すと枝沢のような感じで中俣が入る、大滝も若干水流が見えているだけで通過には問題なさそうだ。アイゼンをつけトラージェンして登る、この場合は栗原さんがトップとなる。



大滝を越すとスキー向きのスロープ、再びシール登高となるが、天気が怪しい・・・雨が舞い強風が吹き出す、明日からの悪天は計算に入っているが今日から？ 強風の中、荒沢岳の肩1900m付近の稜線に出て、強風に煽られながら灰吹山へのコルに下る。荒れ模様の天気なので今日はここまで、少し北ノ又側へ降りた樹林にて幕。

5/1 小雨のち曇り、夜半風雨強い

天気図からの想定は、今日はゆっくと寒冷前線が近づくと、夜には大荒れになりそうか・・・ 小雨模様であるが視界が利いているので先に行程を伸ばすことにする。灰吹山



～灰ノ又山～源蔵山にかけては緩やかな山稜だが、風紋でうねっており細かい上り下りがある。ここは思い切って谷へ滑降したほうが快適であろうが、今日のコンディションでは稜線を忠実に行くしかないであろう。源蔵山からはシールをはずして一滑り、シッカイ倉沢側に少し降りた針葉樹林にテントを張る、ここならば今夜の風雨も凌げるだろう。天気の悪化まで少し時間がありそうなので巻倉山～シッカイ倉沢

の上部を一本滑る、短いが快適な滑降であった。

夜半に目を覚ます、テントを揺さぶる風雨の音が強い。久しぶりに自然の猛威を感じる。

5/2 雨のち曇

早い時間での回復を期待したが、寒気が入ったのであろう冷たい風が吹き、濃いガスに覆われている。中ノ岳への行程はあきらめ北ノ又川右岸側のスキーを楽しむ計画に変える。昼近くなると青空の見えるし停滞も飽き飽きしてきたので「よし、一本」ということでテントを出る。稜線を越して反対側の岩魚沢にスキーを走らせる、なかなか快適。好斜面が続き、どこまでも滑ってしまいそう。きりが無い



ので標高1400m付近で切り上げて源蔵山に登り返す。ここからシッカイ倉沢右岸尾根沿いに滑降し、シッカイ倉沢へ滑り登り返す。風は冷たく中ノ岳～駒ヶ岳の稜線はガスの中であった。

5/3 晴のち曇

待望の晴である。兎岳に向かって稜線に行く、雪が硬いのでトラージェン+アイゼンである。好天を待ちかねた二人はサクサクとペースが速い、「雪が緩

むまで滑降を待たなくてはいけないよ～」と時折声をかけるがピッチは変わらない。兎岳のピークからは素晴らしい展望、中ノ岳～駒ケ岳のスキールートも良く偵察できた。三国ダム方面も望め残雪の白、新緑、ダム湖の青が新鮮な色合いだ。目をつけていた兎沢右岸尾根を滑降する、ややクラスト気味で慎重にターンすると程よい傾斜で実にスキー向けの尾根。少し下り雪質もよくなると中村君が歓声とともに飛ばしていく、約30分でシッカイ倉沢二俣に降り立つ。良いルートであった。



ここから上り返し、大きな滝があるのか急斜面が二つ、ツボ足で歩く。テントを撤収して稜線を灰ノ又山まで行く。黄砂のせいだろうか、空が重く景色がぼんやりしている。緩やかなスロープから灰ノ又沢左俣へ滑り込む。滝があるのだろう、急斜面も現われ、変化があつて面白い。二俣から右俣にはいり灰吹山のコルを目指す、稜線は雪庇もあるが、中村君のよきルートファインディングでひょっこりと二日前の幕場にてた。

5/4 晴

荒沢岳に登る、眼下に広がる灰ノ又沢に素晴らしいスキースロープがいくつも見出せる。蛇子沢尾根を50mほど下って、スキーをセットする。蛇子沢左俣の快適なスキーを期待したが腐った新雪とデブリで苦勞するというよりは高度を落としたといった感じ、昨日までの快適な雪質とは大違いであった。



標高1200mくらいからはゴルジュの兩岸に今にも崩壊しそうなブロックがひっかかっている。スキーを外してデブリの上を一目散、脱兎のごとく下った。二俣について一安心、大休止とした。入山前より明らかに雪が減っており、若干の藪漕ぎをしてミミズ尾根に登り返した。ここからはブナ林を縫ってスキーを走らせ、銀山平の雪



原を進む。車デポまでスキーを着けたままでフィニッシュできた。春霞にかすむ北ノ又川の山々を振り、無事の下山を感謝した。

震災後の長期山行、事故や迷惑がないようにとちょっと慎重だったかな、との思いもあるが何かにつけてリードしてくれたお二人に多謝。

【行程】

- 4/30 銀山平 (6:35) - ミミズ尾根下降点 (8:05) - 蛇子沢中俣大滝 (9:55) - 荒沢岳肩 (12:30) - 灰吹山コルC1 (13:10)
- 5/1 C1 (10:45) - 灰吹山 (12:25) - 源蔵山 (12:25~55) - 巻蔵山コルC2 (13:15~55) - 巻倉山~C2 (14:50)
- 5/2 C2 (12:50) - 岩魚止沢1400m~源蔵山 (14:00) - シツカイ倉沢-C2 (14:30)
- 5/3 C2 (5:58) - 兎岳 (7:40~55) - 兎沢右岸尾根滑降-シツカイ倉二俣 (8:18) - C2 (9:32~10:05) - 源蔵山 (10:30) - 灰ノ又山 (10:55) - 灰ノ俣沢左俣-二俣 (11:30) - 灰吹山コルC1 (13:30) C3
- 5/4 C3 (7:45) - 荒沢岳 (8:35~9:00) - 蛇子沢左俣-二俣 (9:50~10:30) - ミミズ尾根 (10:50) - 銀山平 (11:50)

【地図】 奥只見湖 八海山 平ヶ岳 兎岳

